

Sun Java™ System Web Proxy Server リリースノート

バージョン 4.0.1 2005Q4

Part No. 819-3536

このリリースノートには、Sun Java™ System Web Proxy Server 4.0.1 製品 (以後 Proxy Server 4.0.1) がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。ここでは、プラットフォームの概要と既知の問題について説明します。Sun 製品を使い始める前に、このドキュメントおよび関連ドキュメントをお読みください。

このドキュメントには、次の項目があります。

- [Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 の拡張機能](#)
- [プラットフォームの概要](#)
- [ハードウェアおよびソフトウェアの要件](#)
- [マニュアルへのアクセス](#)
- [修正済みの問題](#)
- [既知の問題](#)
- [お問い合わせ先](#)

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 の拡張機能

Proxy Server 4.0.1 には、次の拡張機能が加えられています。

NSS 3.10.1 および NSPR 4.5.2 のサポート

Proxy Server 4.0.1 は、NSS (Network Security Services) 3.10.1 および NSPR (Netscape Portable Runtime) 4.5.2 をサポートしています。

プラットフォームの概要

この節では、Proxy Server 4.0.1 でサポートされるプラットフォームコンポーネントに関する情報を示します。

この節には、次の項目があります。

- [プラットフォームの要件](#)
- [サポートされるブラウザ](#)

プラットフォームの要件

次の表は、Proxy Server 4.0.1 プラットフォームの要件についてまとめたものです。

表 1 Proxy Server 4.0.1 のプラットフォーム要件

オペレーティングシステム	最小限のメモリー	推奨するメモリー	推奨するディスク容量 *
Sun Solaris™ 8 for SPARC®	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 10 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for x86	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 10 for AMD Opteron™	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Linux Advanced Server 2.1	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Linux Advanced Server 3 Update 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Advanced Server	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2003 Enterprise Edition	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

* キャッシュ容量の設定によって決まります。デフォルトのキャッシュ容量設定は2G バイトです

サポートされるブラウザ

次の表は、Proxy Server 4.0.1 でサポートされるブラウザを一覧したものです。

表 2 Proxy Server 4.0.1 でサポートされるブラウザ

ブラウザ	バージョン
Microsoft Internet Explorer	6.0
Netscape™	7.1, 7.2
Mozilla™	1.4.1, 1.7.2

ブラウザは Java に対応している必要があります。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

2 ページの「プラットフォームの要件」に一覧した UNIX オペレーティングシステムのメモリーおよびディスク容量の要件に加えて、システムには適切なスワップ容量も必要です。

- Solaris では、少なくともシステムの RAM 容量と同じスワップ容量が必要です (RAM 容量の 2 倍を推奨)
- Linux では、256M バイトのスワップ容量が必要です。

マニュアルへのアクセス

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 のマニュアルはさまざまな方法で提供されています。

- マニュアル - Proxy Server 4.0.1 のマニュアルおよびリリースノートは、HTML 形式および印刷可能な PDF 形式で参照できます。
- オンラインヘルプ - グラフィカルインタフェースの「ヘルプ」ボタンをクリックすると、関連した内容のヘルプウィンドウが開きます。

障害者のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版後にリリースされたアクセシビリティ機能入手する場合は、請求に応じて Sun から提供される 508 条に関する製品評価資料を参照し、使いやすいソリューションの配備にもっとも適したバージョンを調べてください。更新バージョンのアプリケーションは、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun のコミットメントについては、次を参照してください。

<http://sun.com/access>

修正済みの問題

この節では、次のリリースで修正された最も重要な問題について説明します。

- 4.0.1 で修正された問題

4.0.1 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題を示します。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題

ID	概要
2126143	同じ正規表現がアクセス制御とルーティングでは機能しますが、URL フィルタでは機能しません。
2126380	プロキシサーバーの ICP プロセスのメモリー リーク。
6231283	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の管理サーバーが起動に失敗します。
6237346	flexanlg ユーティリティが、Extended2 ログファイル形式でのログ分析レポートの生成時に、コアダンプを出力します。
6240767	管理サーバーおよびプロキシサーバーインスタンスの追加 / 編集待機ソケットが、使用されているポートを確認しません。
6242627	ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6243369	SOCKS に関連するページでマルチバイト文字のエントリは避ける必要があります。
6244103	Linux Advanced Server 3.0 韓国語ロケールでプロキシサーバーインスタンスの「Set Connectivity Mode」ページにアクセスすると、内部サーバーエラーが表示されます。
6245408	管理者ユーザーとプロキシインスタンスユーザーが異なる場合に、新しく追加したパーティションにアクセスすると、内部エラーが表示されます。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6249166	プロキシサーバーへのアクセス時に、URL のホスト名が localhost に置換されると、「Cluster」タブの「Control Cluster」、「Modify Server」、「Remove Server」ページの表示が一致しません。
6253014	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の obj.conf ファイルに、9 つを超える NameTrans ディレクティブが存在すると、init-proxy SAF でクラッシュが発生します。
6254508	セグメンテーションのエラーによって、バッチの更新コマンドが終了します。
6255214	マルチバイト文字から構成されるコンテンツ URL 書き換えページのエントリを編集または削除できません。
6255216	socks5.conf 内の特定の LDAP エントリによって、socksd クラッシュが発生します。
6259314	ローカライズされた一部のオンラインヘルプページが英語のオンラインヘルプページと同期化されていません。
6261440	インストールディレクトリに、重複した英語オンラインヘルプが存在します。
6263694	「Add and Replace Compromised Key List」ページおよび「Add and Replace Certificate Revocation List」ページでオンラインヘルプが利用できません。
6263721	Server Manager の「Add/Replace Cert」ページについて誤ったヘルプページが表示されます。
6274186	サーバーインスタンスを削除できません。
6276398	基本ワークスペースからローカライズされたオンラインヘルプを削除します。
6285078	SOCKS 要求の認証の失敗のエントリがログファイルに記録されません。
6285779	serverID にスペースが含まれる場合に、プロキシサーバーインスタンスが起動できません。
6285788	認証を使用している場合に、SOCKS サーバーがクラッシュします。
6289242	Proxy Server 4 の HTTP Smuggling (スマグリング)。
6293449	Proxy Server 4 が CONNECT メソッドでただちに接続を閉じません。
6296169	他のロケールでインストールされた Proxy Server 4 のヘッダー Cache-last-checked が壊れています。
6296225	DNS キャッシュが有効にされている場合に、Proxy Server インスタンスが断続的にクラッシュすることがあります。
6301786	Solaris 9 x86、Linux AS 3.0 で、ローカライズされコアメッセージが表示されません。
6311463	プロキシプロセスで、時間と共にオープンファイル記述子の数が増加し続け、プロキシのファイル記述子が不足し、接続がドロップします。

既知の問題

この節では、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 がリリースされた時点での非常に重要な既知の問題および制限を一覧表示します。問題をカテゴリごとに記述します。

- [管理](#)
- [キャッシュ](#)
- [マニュアル](#)
- [インストール](#)
- [国際化](#)
- [監視](#)
- [パフォーマンス](#)
- [SOCKS](#)

管理

次の表は、管理ユーザーインターフェイスに関連した既知の問題を一覧したものです。

表 4 管理における既知の問題

ID	概要
6213012	Windows 上の ROTATELOGS イベントは、指定された時間に起動されません。
6213014	Windows 上の RESTART イベントは、指定された時間に起動されません。
6213017	Windows 上の RECONFIG イベントは、指定された時間に起動されません。
6224535	HTTP クライアントの timeout および retries パラメータは、管理インターフェイスを使用して設定することはできません。 回避策 timeout パラメータのデフォルト値は 5 分ですが、obj.conf ファイルの http-client-config SAF に timeout= 秒数というパラメータを含めることによって上書きできます。 retries パラメータのデフォルト値は 3 です。要求の再試行回数は、obj.conf ファイルの http-client-config SAF に retries= 再試行回数というパラメータを含めることによって設定できます。 有効なタイムアウトは、timeout x retries です。
6231297	SOCKS 設定に変更を加えて、SOCKS サーバーの代わりに Proxy Server を再起動した場合は、「Restart Required」リンクが消えます。

表 4 管理における既知の問題 (続き)

ID	概要
6241978	Windows 上の管理インタフェースにアクセスする際にエラーが発生する可能性があります。 回避策 システムの system32 ディレクトリにバージョン 4.5.1 以降の libnspr4.dll が含まれていることを確認し、そのファイルを %install_dir%\bin\proxy\bin ディレクトリから system32 ディレクトリにコピーして、管理サーバーを再起動します。
6303619	default 以外の名前で登録されているデータベースで ACL が正しく機能しません。 回避策 プロキシサーバーインスタンス server.xml ファイルに、新しい要素 USERDB id=xyz を追加します。
6328678	管理インタフェースから、ICP timeout 値を 400 ミリ秒以下に設定できません。 回避策 プロキシインスタンスの icp.conf ファイルを編集し、timeout パラメータの値を変更します。

キャッシュ

次の表は、キャッシュに関連した既知の問題を一覧したものです。

表 5 キャッシュにおける既知の問題

ID	概要
6229823	新しいパーティションを追加すると、パーティションのサイズに関係なく、デフォルトのセクション s0.0 も作成されます。エラーファイルに警告メッセージが記録されます。 回避策 cbuild ユーティリティを使用して、新しいパーティションを追加するか、または新しいキャッシュパーティション下の s0.0 フォルダを削除し、プロキシサーバーを再起動します。 エラーメッセージは無視して構いません。
6275141	ファイルキャッシュ機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「Caching」>「Configure File Cache」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。

表 5 キャッシュにおける既知の問題 (続き)

ID	概要
6289188	<p>root 以外のユーザーとして Proxy Server 4.0 をインストールし、root ユーザーとして管理サーバーをインストールした場合、管理ユーザーインタフェースでキャッシュ設定を変更すると、キャッシュファイルおよびキャッシュディレクトリのアクセス権が root 以外から root に変更されます。</p> <p>回避策</p> <p>管理ユーザーインタフェースでキャッシュ設定を変更したら、マシンにログインし、プロキシキャッシュディレクトリに対して、<code>chown -R <user></code> コマンドを実行します。</p>

マニュアル

次の表は、マニュアルに関連した既知の問題を一覧したものです。

表 6 マニュアルにおける既知の問題

ID	概要
6305450	Proxy Server 4.0.1 オンラインヘルプで説明されている『管理者ガイド』とは『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』を指しています。
6313959	『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』の第 12 章の「ファイルキャッシュを設定するには」節の手順 1 の説明は誤っています。正しい説明は、「Server Manager から、「キャッシュ」タブをクリックします」です。
6313960	『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』の第 12 章の「バッチ更新を作成するには」節には、「タイミングセクション」を参照する手順 10 があります。この手順は誤っています。「Set Cache Batch Updates」ページには「タイミングセクション」がありません。
6316289	『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』の第 12 章の「キャッシュのディレクトリ構造の構築」節には、図 12-2 ではなく、図 12-1 を参照する例が掲載されています。
6331044	<p>『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』のまえがきで、「マニュアルの使用」節に、Proxy Server 4 マニュアルの場所を指定しています。</p> <p>http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic</p> <p>この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.1 マニュアルを指示する必要があります。</p> <p>http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.1</p>
6331050	<p>『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 管理ガイド』の第 1 章「このリリースでの新機能」では、Proxy Server 4 リリースノートの場所を指定しています。</p> <p>http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic</p> <p>この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.1 リリースノートを指示する必要があります。</p> <p>http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.1</p>

インストール

次の表は、インストールに関連した既知の問題を一覧したものです。

表 7 インストールにおける既知の問題

ID	概要
6205683	Windows 上のコンソールインストールに失敗します。
6255325	root ユーザーでないユーザーが Proxy Server をインストールし、/var/opt/sun/install ディレクトリが存在しない場合、インストーラは例外をスローし、Linux でのインストールは失敗します。

国際化

次の表は、国際化に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 8 国際化における既知の問題

ID	概要
6233080	ルーティングが別のプロキシサーバーを使って設定されている場合、「Disable Proxying」オプションはマルチバイトデータ (URL エンコード) の URL では機能しません。
6233090	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL をマップできません。
6233093	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL のフィルタを作成できません。
6233100	取得中のページのマルチバイト文字列をリライトできません。
6246562	クラスタを使って別のロケールおよびプラットフォームにインストールされた一連のサーバーの停止に失敗します。
	回避策
	各サーバーを個別に停止します。
6300615	ローカライズされたコアメッセージにメタタグがありません。

監視

次の表は、監視に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 9 監視における既知の問題

ID	概要
6268536	<p>libspr4.dll ファイルが system32 ディレクトリにない場合、Windows 上の SNMP は機能しません。</p> <p>回避策</p> <p>システムの system32 ディレクトリにバージョン 4.5.1 以降の libspr4.dll が含まれていることを確認し、そのファイルを %install_dir%\¥bin¥proxy¥bin ディレクトリから system32 ディレクトリにコピーして、管理サーバーを再起動します。</p>

パフォーマンス

表 10 パフォーマンスにおける既知の問題

ID	概要
6315817	<p>複数の同時 CONNECT (SSL トンネリング) 要求によって、スレッドが不足します。</p>

SOCKS

次の表は、SOCKS に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 11 SOCKS における既知の問題

ID	概要
6245453	<p>更新抑制機能は GUI に表示され、「Server Manager」 > 「SOCKS」 > 「Configure SOCKS v5」のページに説明がありますが、この機能は実装されていません。</p>
6263389	<p>Windows で同じポートを使用して SOCKS の 2 つのインスタンスを起動すると、エラーがレポートされません。</p>

お問い合わせ先

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 の使用にあたって問題が発生した場合は、以下のいずれかの方法で Sun のカスタマサポートにお問い合わせください。

- 次の URL の Sun Software Support サービスオンライン
<http://www.sun.com/service/support/software>
- メンテナンス契約に対応した電話番号

次の情報をお知らせください。

- 問題の詳細な内容 (発生状況や業務への影響の度合など)
- マシンのタイプ、OS のバージョン、および製品のバージョン (問題に関連している可能性のあるパッチやその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための詳細な手順
- エラーログおよびコアダンプ

Sun ではマニュアルの改善に努めており、皆様のご意見、ご提案を歓迎いたします。ご意見は <http://docs.sun.com/app/docs/form/comments> でお寄せいただくことができます。

Copyright © 2005 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、本ドキュメント内で説明されている製品に組み込まれた技術に関連する知的所有権を有します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には <http://www.sun.com/patents> の一覧に示される米国特許、および米国ならびにその他の国で取得された、または申請中の特許などが含まれています。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

本製品には、サードパーティが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標もしくは登録商標です。SPARC の商標はすべて、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先